

タチャゴ、小和田の瀬。途中、水量が少なく渡船ではアクセスできず急な山道を下って入川。とはいうものの、この流れの速さと押しの強さは紀伊半島では別格。荒瀬、大アユ用ロッドでなければ引き抜きは困難だ

天然遡上の精悍な大アユが硬調ロッドを絞り込む！

北山川

和歌山、三重、奈良と3県にまたがる北山川は熊野川の支流……というより、こちらこそ本流!? と言いたくなるほど雄大な流れを持つ。熊野灘から遡上し大きく育つ天然アユの強烈な引きが最大の魅力だ！

解説◎福田真也

(熊野川漁業協同組合連合協議会管内)



竹筒。下流には長く大きな瀬があり毎年このエリアから良型アユが釣れ始める



游尻の瀬から上流が游八丁。切り立った絶景の渓谷が続く



游尻のポイントにジェット船が通過。瀬肩、瀬、瀬尻といずれも大アユの好ポイント



玉置口から上流（奥游）には渡船を利用する。この日は川舟観光かわせみ（☎0746-69-0168）で板津呂まで遡った



北山川本流で一、二の流れの速さをみせる大瀬。このポイントではオートクルーズ釣法が効く

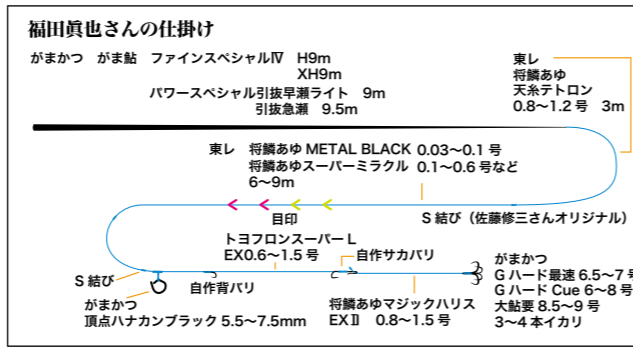
絶景の瀨峡には渡船利用で！

熊野川本流から和歌山県新宮市の宮井、三重県熊野市紀和町で分岐し大台ヶ原を源流域とする北山川は、近畿地方では屈指の大川である。大自然のなかに幅広く水量も豊富で絶景の渓谷をゆったりと流れるさまは圧巻。私も初めて釣行した時は異次元の世界に迷い込んだように思えた。アユ釣り場としてこんなところがあったのかと、その大きさと美しさに鳥肌が立ったのを覚えている。

特に瀨峡、游八丁と呼ばれる深い渓谷は観光地としても有名でアユ釣りを行っている目の前を観光ウオータージェット船が行き交う。游八丁、瀨峡より上流には小森ダムがあり和歌山県の飛び地と三重県境に沿う七色貯水池、奈良県に入って池原ダムと続き北山村、上北山村まで流域は非常に長い。今回紹介するのは奥游から下流域である。

アユは天然遡上が主体となる。8月後半からは最上流部（奥游）で大きく育った野アユと対決できる。背ヒレが長く精悍な面構えをした25〜30cmの大アユとのやり取りはスリル満点である。この川独特の本当に美しいアユだ。また9月に入ると下流部で第2の解禁を思わせるほどチャラ瀬やト口場などで釣りが楽しめる。遅れて遡上し群れをなす13〜20cmクラスのアユたちの3ヶタ釣りが夢ではない。季節ごとに友釣りの醍醐味を存分に味わえる河川なのだ。

特に玉置口から上流は切り立った渓谷が続くので渡船を利用する以外に釣行する手段がない。そのため釣り場はいつも新鮮で釣り人の期待を裏切ることがない。混雑もなくゆったりと釣りが楽しめる。



る、まさに釣り人天国だ。ただし遡上が少ない年は8月に入らないと釣果が上がらないのも事実なので釣行の目安にしたい。

釣行に際してはこの川のポイント攻略で覚えておきたいのが、一般河川であれば川の蛇行の内側から流れるが、北山川では流れが当たっている側（外側）に立ち、流心、瀬脇といったポイントを釣るのが最も有効であることだ。

平成23年9月の台風による大水害が起きてから、近年は遡上があまり芳しくない。またエサ釣りの影響がどうかは分からないが、アユの生態が変化したのか野アユが浮いて育つようになってきていると聞く。無二の友釣りファンとしては少し心配な部分である。

北山川と宮井から下流の熊野川本流を管理する熊野川漁業協同組合連合協議会でも、その点を把握しており対策を練っているようである。かつてのような活発な天然遡上の復活を祈りたい。



8



7

一峪のポイント。大きな淵と淵の間に短い瀬がある

- 凡例**
- 🏠 オトリ店
 - 🚗 駐車スペース
 - ★ 入川口、入川道
 - 📷 撮影場所・方向
 - 🚻 WC 公衆トイレ
 - 🛢️ ガソリンスタンド
 - 🏪 コンビニ

和歌山県

奈良県

三重県



川舟観光かわせみ（東渡船）のカワセミ号。乗船時はライフジャケット必着。持参しなくても貸してもらえる

十津川村

※瀬八丁～瀬峡は小和田の瀬を除きすべて陸路でのアクセスは不可、渡船利用となる。川の水量によって渡船が遊れる区間が変わるので奥地ほどサオだしが難しい



瀬尻は大型が掛かる好ポイント



玉置口からすぐ上流にあるのが中越の瀬



137

1

小和田中越

136

瀬八丁から瀬峡に至る下流の中越から小和田までの区間は、小和田の瀬を除き陸路でのアクセスは無理で、下流にある川舟観光かわせみ（東渡船）のお世話になることになる。このエリアへの釣行は7月後半からがおすすめ。タックル、仕掛けは急瀬クラス以上のサオにメタルか複合メタルの0.1号以上、ハリは8号以上が必要。特に押し強い流れで大物が掛かる小和田の瀬はパワータイプの急瀬9.5、10m、ハリは8.5号以上の3本イカリという道具立てが必要。高知の四万十川、北や九州は球磨川など大アユ河川へ遠征する時と同等の準備をしてほしい。

水量が豊富な時は小和田の瀬まで渡船が遊れるが、平成25年7月27日の取材時も板津呂までしか渡船でアクセスすることができなかった。そんな事情で車を有蔵トンネル入口横のスペースに停め、道を下って入川したわけだが、道路からは下に見えないうえ、小和田の瀬は体力、脚力に自信のない方にはおすすりできない。特に単独ではオトリ缶や道具一式をかついでの上り下りが大変だし危険。できれば何人かのグループで荷物を分担し、それも極力少なくして釣行がよいだろう。

水量が豊富な時は小和田の瀬まで渡船が遊れるが、平成25年7月27日の取材時も板津呂までしか渡船でアクセスすることができなかった。そんな事情で車を有蔵トンネル入口横のスペースに停め、道を下って入川したわけだが、道路からは下に見えないうえ、小和田の瀬は体力、脚力に自信のない方にはおすすりできない。特に単独ではオトリ缶や道具一式をかついでの上り下りが大変だし危険。できれば何人かのグループで荷物を分担し、それも極力少なくして釣行がよいだろう。

北山川エリア④ ←北山川エリア③ ←北山川エリア② ←北山川エリア①



奈良県

十津川村

和歌山県

三重県

たまきぐち 2 玉置口～ ゆのくち 湯ノ口の瀬



3 小瀬は上流の平瀬と下流の大瀬の間にある短い瀬。7月中旬ごろから良型が釣れる



2 平瀬は水深の浅い瀬が続くポイント。トロの下の瀬肩から瀬にかけて数釣りを楽しめる



1 玉置口のポイントは右岸、左岸どちらからでも入川可能。一般的には左岸の河原を大瀬から走り上流へ向かう



7 木津呂の渡し場の上流向き。正面の瀬肩から上流のトロ場がねらいめ



8 木津呂の渡し場から下流方向。右岸に渡り瀬の落ち込みを攻める



4 大瀬はこの区間では一番の激流で良型がねらえる人気ポイント。渡船から瀬肩を撮影



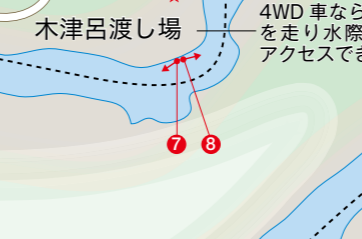
5 大瀬の中段付近。サオがだしやすく良型の数釣りを楽しめる



6 大瀬の中段の瀬落ちがトロ瀬に変化。水深があり大瀬の中でもナンバーワンのポイント。ボートから釣りをする姿もよく見かける



9 4WD車なら河原を走り水際までアクセスできる



7 鳴津の大瀬はポイントが広くトロ場、チャラ瀬、急瀬が点在する



11 古子の瀬は鳴津地区の最下流のポイントで遊大橋のすぐ上流まで釣り下ることができる。支流・板屋川との合流点がねらい目



10 鳴津の平瀬は瀬落ちの左岸側を釣るのが好ましいが長サオが必要である

流れが蛇行に蛇行を重ねる玉置口から湯ノ口の瀬の区間は、北山川のなかでも一番の人気ポイント。アユ釣りファンの姿がシーズンを通じて絶えない。ただし玉石、玉砂利の河原が非常に広大で、川の流れのそばまでの入川には四輪駆動車が必要。普通車の場合は河原に下りるのは困難で、広い河原を徒歩によるアクセスとなる。このエリアでの道具立ては以下のとおり。サオは早瀬クラス以上で複合メタルラインなら0.03号以上、ナイロンやフロロカーボンラインの場合は0.175号以上を使い、ハリは6.5号以上の3、4本イカリが理想的だ。平瀬、小瀬、大瀬、木津呂の渡し場、鳴津の平瀬、古子の瀬、湯ノ口の瀬などが有名どころだが、これら以外にも急瀬、早瀬、トロ瀬、チャラ瀬、トロ場と好ポイントが連続している。



15 湯ノ口の瀬の下流部だが湯ノ口の瀬といえばこのポイント。瀬、瀬落ち、瀬のヒラキ、チャラ瀬が連続する。右岸からねらうのがよい



14 湯ノ口の瀬は初期からねらえる好ポイント。左岸からしかサオをだせないが右岸ギリギリが最高



13 湯ノ口の瀬の最上流部。左岸に大岩がありトロ場から瀬肩、瀬と好ポイントが続く。右岸から釣るのがおすすめでオートクルーズ釣法が効果的



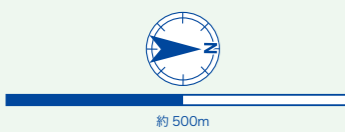
12 游流荘下流のトロ場は7月後半、劇的に爆釣することが多い。右岸から入川する



入鹿温泉にあるホテルで日帰り入浴もOK。館内にある喫茶游園で食事もできる



三重県熊野市紀和町の小川口から国道311号を走ってすぐの集落に不破釣具店がありオトリを販売している。(☎05979-7-0044)



3 たけとう 竹筒の瀬 こぶね 小船前の瀬

腰折の瀬、竹筒の瀬から熊野川との合流直前の小船前の瀬に至る北山川最下流部の区間は、ポイントとポイントの間隔が非常に広く車で陸路から釣行すると限られた場所しかサオをだせない。そのためアクセスしやすいポイントほど釣り荒れしやすい。そこで渡船を利用しての釣行ならば、徒歩では困難なポイントでも楽に行くことができるし、高確率でサラ場での釣りを楽しむことができる。サオは早瀬クラス以上のものをおすすめ。ラインはメタル、複合メタルともに極力細いほうが面白い。フロロカーボン、ナイロンラインも0.1号の使用が可能だ。底石が小さく流れも上流部にくらべると、ぐっと穏やかである。極細のフロロカーボンラインを使ったらベタサオで釣るのが意外と楽しい。掛けバリも6・5号メインでかまわない。

和歌山県

熊野川町九重

九重郵便局前

4WD車ならここから河原へ下りて水際までアクセスできる

九重学校前の瀬

竹筒の瀬

十津川村竹筒

腰折の瀬

奈良県
十津川村

和歌山県



5 九重郵便局前の瀬（上）。ほんのわずかな短い瀬だが穴場的な面白いポイント



3 九重学校前の瀬（上）は四輪駆動車で右岸側の河原を最上流部まで走り、右岸側から瀬肩のトロ場をさらに上流に立ち込むのがよい



6 九重郵便局前の瀬（下）はテトラの前から下流にかけて深場が続き、後期には28cmクラスが出るポイント



4 九重学校前の瀬（下）。よさそうなチャラ瀬が続くが、どういわけか釣果がふるわない



2 竹筒の瀬（下）は上のポイントにくらべると釣果はイマイチ。このすぐ下流の大トロ場によりポイントがあるが陸路ではたどり着けない



1 竹筒の瀬（上）は瀬肩から瀬にかけてがポイント。例年このポイントで釣れ始めたら「上流もそろそろかな？」と目安にしている



7 四滝の水量計前。水量計の階段を下りてすぐ前に、よいトロ場があるが手前（右岸側）がドン深で長サオでないポイントに届かないので注意



8 四滝の水量計下流の瀬は特に瀬肩と瀬尻がよい



10 小船前の瀬は仲オトリ店から上流のトロ場がベター。ドック前に寄るほうが良型の確率が高い。シーズンを通じてねらえるポイントで数釣りも楽しめる



9 熊野交通のウォータージェット船の修理ドック入口より下流の深瀬がよい。良型が釣れる



約500m



8 音川尾頭前の瀬。志古のジェット船発着場のすぐ上流にあり瀬肩から瀬にかけてがねらいめ。流れが速く面白い



9 音川尾頭前の瀬の上流。ポイントが非常に広く自分なりに入れ掛かりポイントを探りながら歩くのも楽しい

赤木川の合流点で対岸はかつてゴルフ場があったところ。右岸、左岸どちらからでもOK。8月ごろから赤木川の水温が上昇するため合流点から下流の特に右岸側は水温に注意



4



5

三和大橋下流。瀬落ちの深トロ左岸側が数も型も望めるポイント



6

三和大橋上流。左右どちら側からでもサオが出せる。下流域としては珍しく底石が大きい。流れも速く存分に瀬釣りが楽しめる



3

赤木川合流点下流の瀬。旧道にぶち当たる手前が浅く盛り上がりっており、このカケアガリ前後が最も楽しめる。このポイントだけでも3ケタは充分期待できる



1

道の駅、浪花オトリ店すぐ下流の瀬で、後期は荒瀬で良型が出る

浪花オトリ店 (オトリ)



道の駅の対面にあるオトリ店。スロープを上った一段高い場所の大型水槽を備えたお店。(☎ 0735-44-0777)

道の駅の駐車場で河原へ下りるスロープがあり7~17時の時間帯にチェーンが外されている場合は車で下りてもかまわない

Guide

- 管轄漁協 熊野川漁業協同組合連合協議会 (☎ 0735-28-2380)
- 解禁日 6月1日 (小森ダムより上流は6月15日)
- 入漁料 年券5000円、日券2000円。高校生以下は無料
- 釣況問い合わせ 熊野川情報ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kumagyo>
- ダム放水情報 (☎ 0120-30-2425)
- 交通 車利用で和歌山方面からは富田川沿いを北上し国道311号で中辺路、本宮を経由するルート、奈良県五條方面からは国道168号で十津川沿いを南下するルート、奈良県吉野方面からは国道169号で川上村、上北山村を経由するルートが便利

紀和町小船

北山川

至・宮井大橋、本宮方面

バス停のすぐ北に階段がある

紀和町楊枝

音川尾頭前の瀬

熊野川

ジェット船発着場

三和大橋

ゴルフ場跡

赤木川

4WD車ならここから河原へ下りて水際までアクセスできる

喫茶みどり

田長トンネル

熊野川町田長

浪花オトリ店

道の駅 海峽街道熊野川

至・国道42号方面



2

道の駅のすぐ上流はトロ場、瀬肩、瀬と、どこでもサオを打つてもよく釣れるうれしいポイント。河原を歩くのは大変だが行く価値あり

和歌山県

4 田長 (音川尾頭前の瀬 (熊野川))

熊野川本流部であるこの区間は北山川筋と同じ熊野川漁業協同組合連合協議会の管轄なので、高田川や赤木川などを管轄する熊野川漁業協同組合の遊漁券では釣ることができないので注意。川幅が広く流れも緩やかでエサ釣りの人も多い釣り場。初期からねらえるのが本格的になるのは後期である。小船前のすぐ下で北山川と熊野川が合流するが、この合流点からは水量がさらに増す。田長の浪花オトリ店、道の駅付近まで友釣りを終盤まで楽しむことができる。サオは早瀬タイプで充分だが午前11時ごろから午後3時過ぎまでは、強い南風が川を吹き抜けることが多いので、この時間帯だけは短めの急瀬タイプのサオがほしくなる。ハリは6〜7号。釣れるアユのサイズや流れの強弱で使い分けたい。極細ラインの使用もOKだがオートクルーズ釣法ならナイロン0.3号がおすすめ。



7

三和大橋上流の瀬の一番上手になる。これより上流の右岸側のトロ場がよい

喫茶みどり



三和大橋の少し上流にあるモダンな喫茶店

北山川～熊野川のオトリ店

浪花オトリ店 ☎ 0735-44-0777
仲オトリ店 ☎ 0735-46-0135
不破釣具店 ☎ 05979-7-0044



約500m